

## 最近の管内経済概況

(2022年10月の経済指標を中心として)

～ 持ち直しの動きに弱さがみられる ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、弱含みとなっている。
- 個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
- 観光は、緩やかに改善している。
- 公共工事は、減少した。
- 住宅建設は、一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、緩やかに持ち直しの動きがみられる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも増加した。

全体として、管内経済は、持ち直しの動きに弱さがみられる。

なお、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2022年12月15日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局  
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

# 管内経済概況判断の推移

(2022年12月現在)

発表月	2022年7月	8月(※)	9月(※)	10月	11月	12月	前月との判断比較
総括判断	持ち直しの動きに弱さがみられる(↘)	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	
生産活動	弱含みとなっている(↘)	弱含みとなっている	弱含みとなっている	弱含みとなっている	弱含みとなっている	弱含みとなっている	
個人消費	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる(↗)	
観光	一部に持ち直しの兆しがみられる	緩やかに持ち直している(↗)	持ち直している(↗)	持ち直している	持ち直している	緩やかに改善している(↗)	
公共工事	減少している	減少した	増加した(↗)	減少した(↘)	増加した(↗)	減少した(↘)	
住宅建設	弱い動きとなっている(↘)	弱い動きとなっている	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる(↗)	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	緩やかに持ち直しの動きがみられる(↗)	緩やかに持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直しの動きがみられる	
企業倒産	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも増加した	件数は同数、負債総額は減少した	件数は増加、負債総額は減少した	件数は増加、負債総額は減少した	件数、負債総額とも増加した	

上方修正 据え置き 下方修正

(※) 8月(6月指標)及び9月(7月指標)については、10月に発表。

注：下線部は、前月から判断を変更した部分。

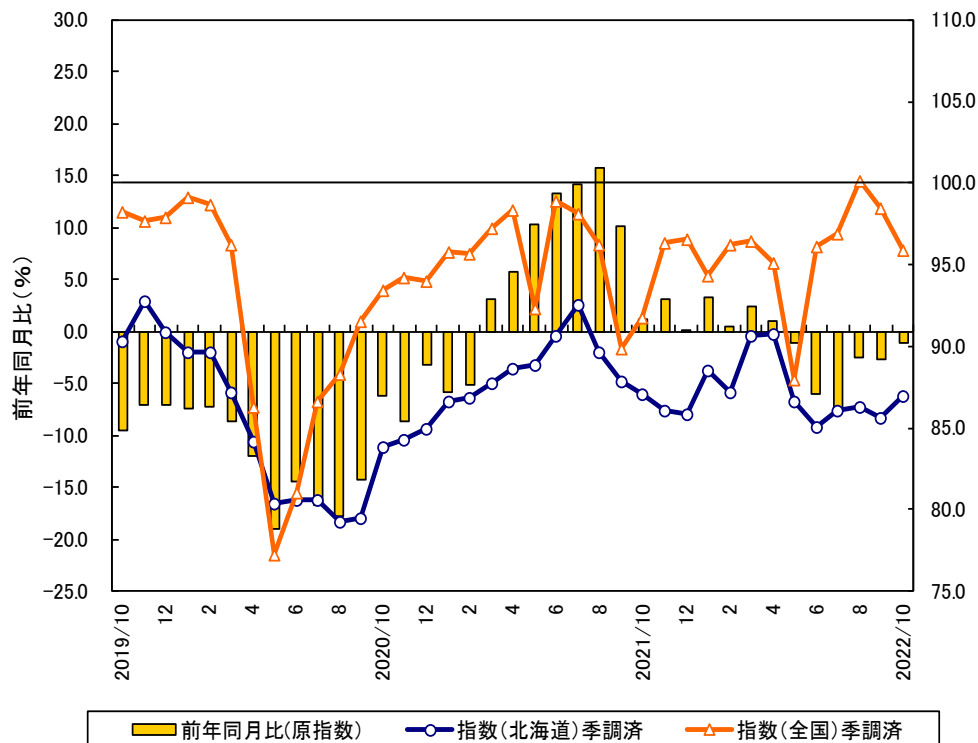
# 生産活動 ～ 弱含みとなっている ～

10月の鉱工業生産は、前月比+1.6%と2か月ぶりに上昇した。前年同月比は▲1.1%と6か月連続で低下した。上昇業種は、化学・石油石炭製品工業など10業種となった。低下業種は、輸送機械工業など5業種となった。

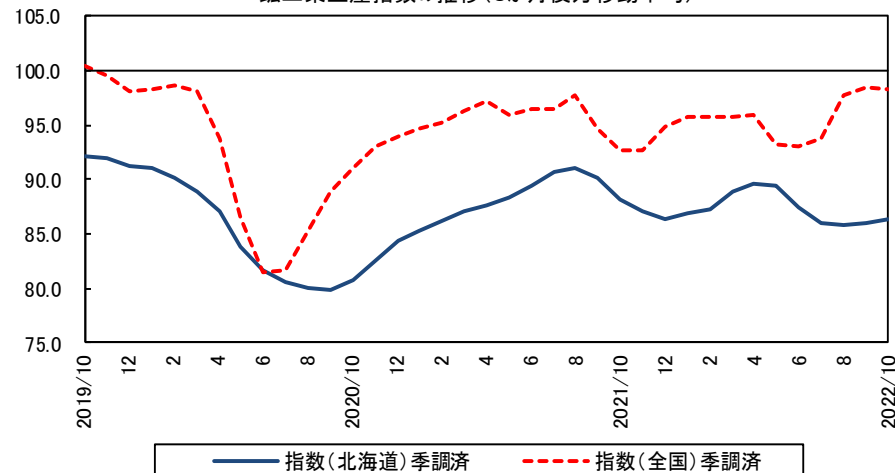
<10月> 季節調整済指数	
北海道(速報)	87.0(前月比+1.6%)
全国(速報)	95.9(前月比▲2.6%)

	業種	前月比(%)	前年同月比(%)	主な品目
上昇 10業種	化学・石油石炭製品工業	+28.0	+17.5	化学・石油石炭製品
	一般機械工業	+13.0	+18.8	一般機械
	金属製品工業	+12.1	▲12.6	鉄骨
低下 5業種	輸送機械工業	▲11.1	+14.0	自動車部品

鉱工業生産指数(2015年=100.0)



鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均)



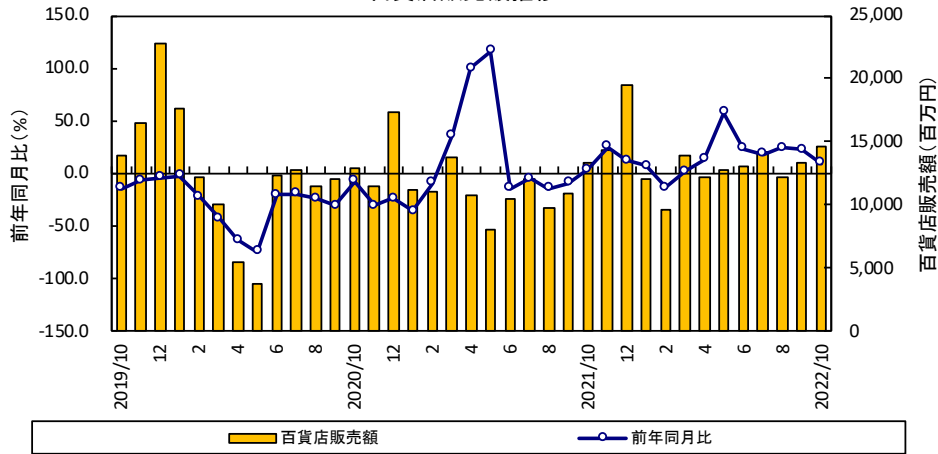
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

# 個人消費 ～ 持ち直しの動きがみられる ～

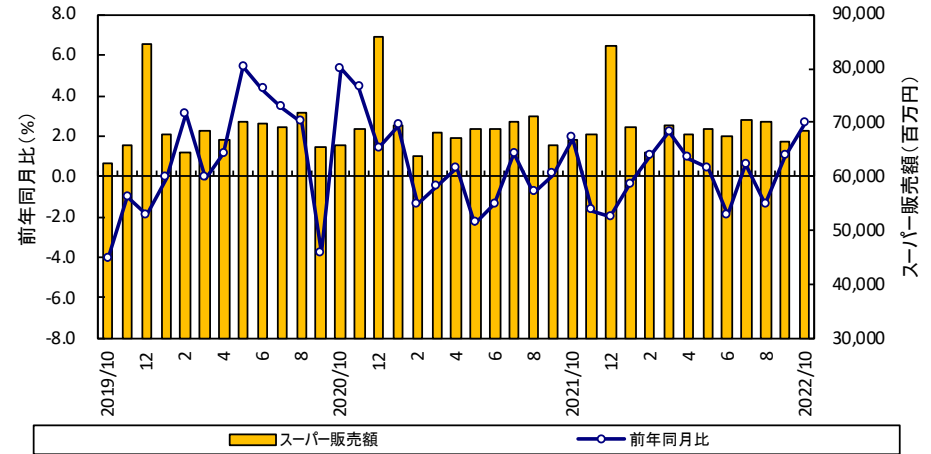
10月の個人消費は、家電大型専門店は前年を下回ったものの、他の6業態は前年を上回った。

- ・百貨店は、全体的に売上げが好調で、前年同月比+9.3%と8か月連続で前年を上回った。
- ・スーパーは、全体的に売上げが好調で、同+2.6%と2か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアは、同+8.3%と12か月連続で前年を上回った。

百貨店販売額推移

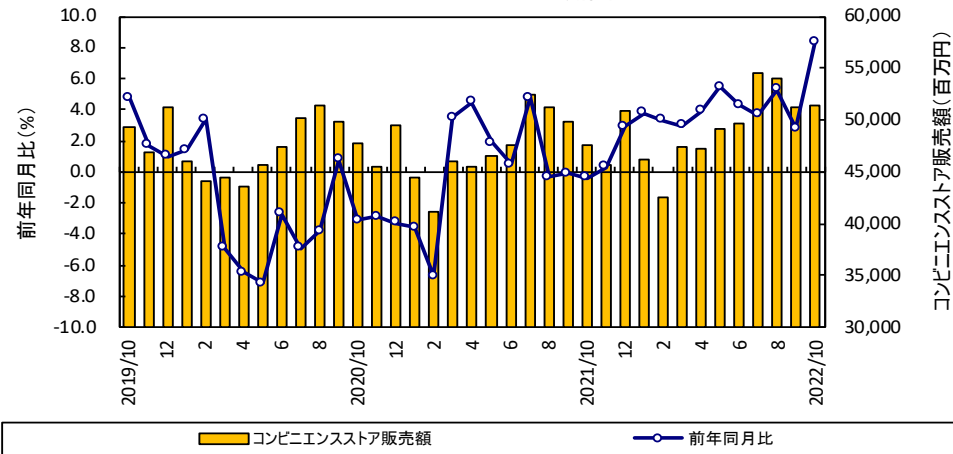


スーパー販売額推移



※ 2020年3月に対象事業所の見直しを行ったスーパーの2020年2月以前の販売額については、整合性を図るため調整済み。

コンビニエンスストア販売額推移

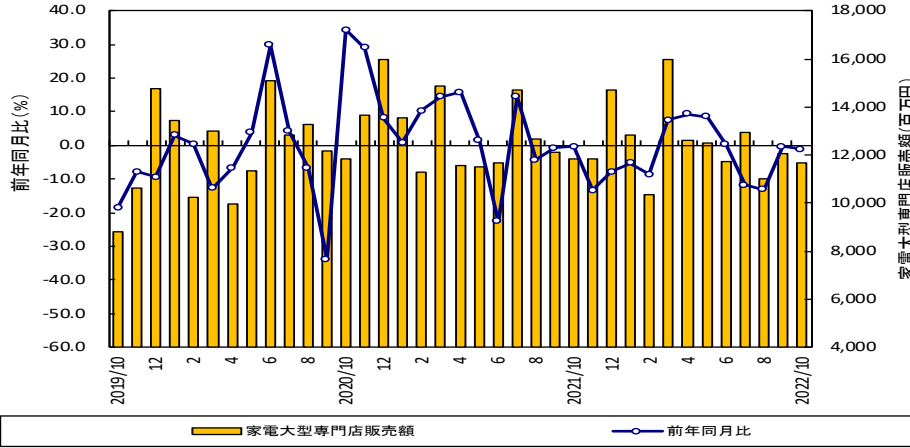


## 【ヒアリング内容】

- ・引き続き行動制限がなかったことから、客数が増加した。ブランド品などの高額商品は堅調に推移している。インバウンド消費も少しずつ回復している。(百貨店)
- ・飲食料品は、商品値上げの影響もあり客単価が上昇している。外出機会が増加していることから、衣料品の売上げが好調なほか、旅行関連商品は堅調に推移している。(スーパー)
- ・たばこは前年9月に駆け込み需要があり、10月は売上げが落ち込んだ。今年はその反動もあり売上げが増加した。札幌市中心部の売上げは引き続き好調なほか全国旅行支援の後押しもあり観光地の売上げが伸びている。(コンビニエンスストア)

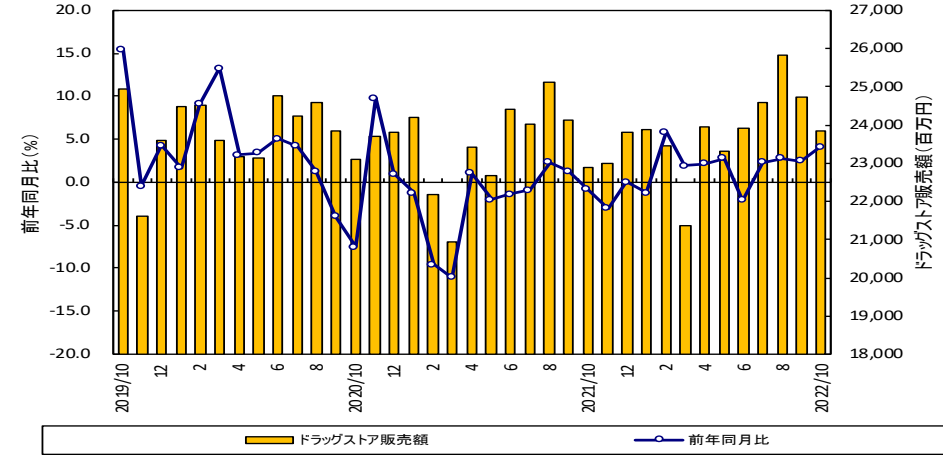
- ・家電大型専門店は、同▲1.2%と4か月連続で前年を下回った。ドラッグストアは、同+4.1%と4か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同+2.9%と6か月ぶりに前年を上回った。
- ・新車販売は、同+29.3%と2か月連続で前年を上回った。

家電大型専門店販売額推移



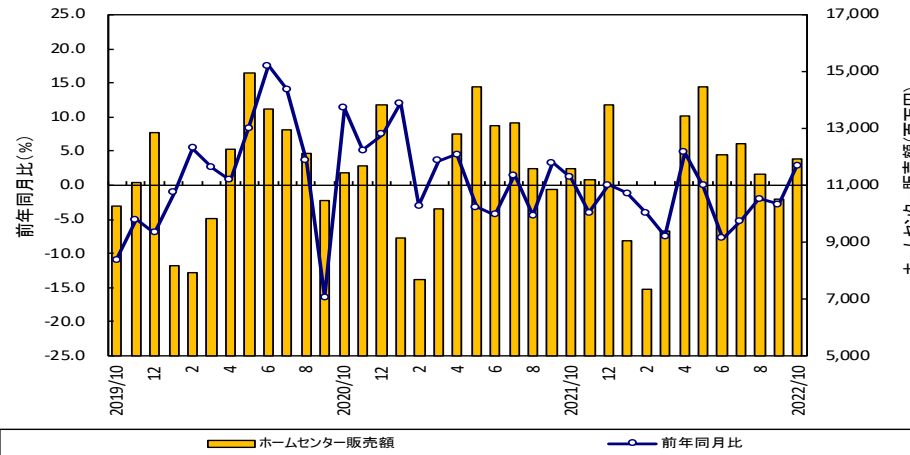
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

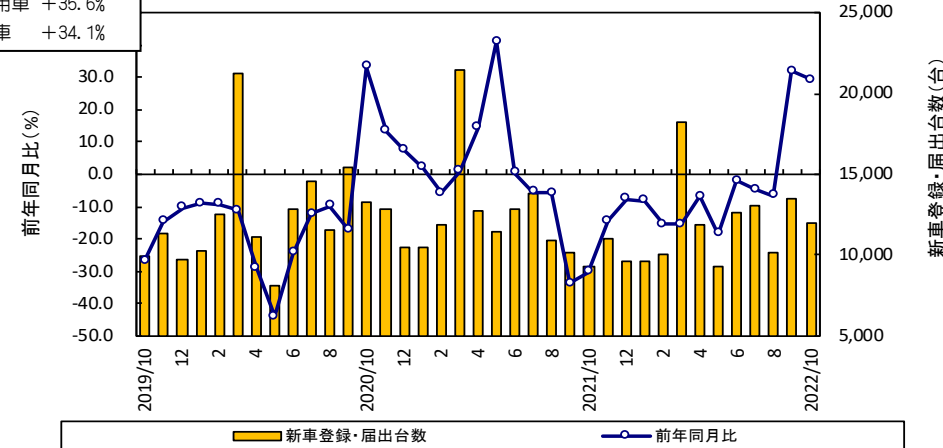
ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

<10月>  
 普通乗用車 +20.4%  
 小型乗用車 +35.6%  
 軽自動車 +34.1%

新車登録・届出台数推移



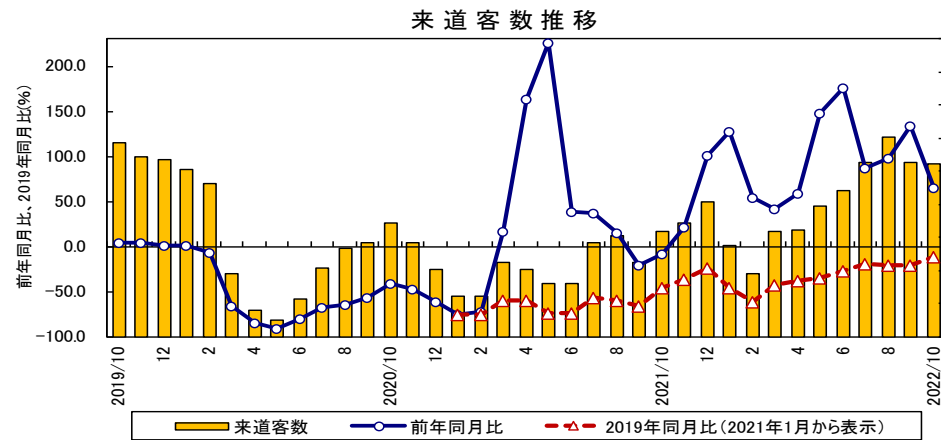
(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

【ヒアリング内容】

- ・洗濯機や冷蔵庫などを中心に売上げが増加したが、前年好調だったエアコンで反動減がみられた。(家電大型専門店)
- ・引き続き化粧品の売上げが好調だった。また、新規感染者数の増加に伴い自宅療養者も増え、解熱鎮痛剤など医薬品の売上げが増加した。(ドラッグストア)
- ・中旬以降雨が少なかったことから、園芸用品や塗料・補修材などの売上げが良かった。政府補助金の効果もあり、給湯器の売上げが好調だった。(ホームセンター)

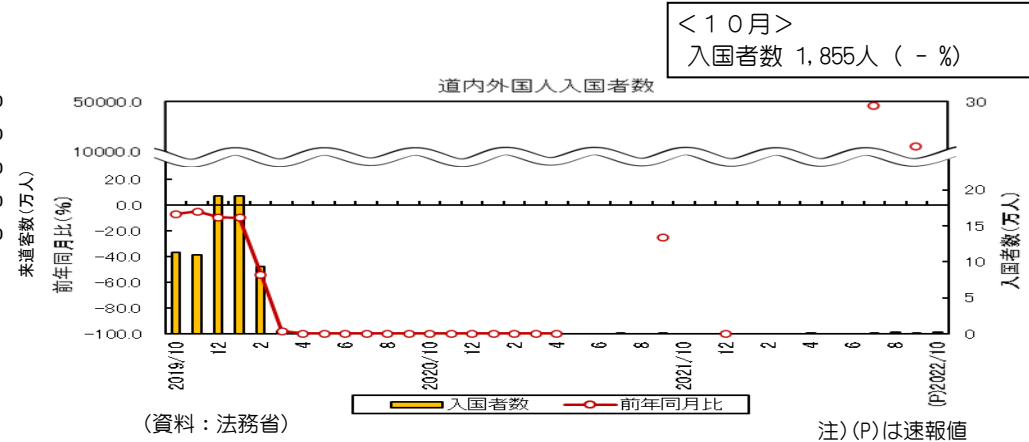
# 観光 ～ 緩やかに改善している ～

10月の来道客数は、前年同月比+64.7%（2019年同月比▲11.3%）と12か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、1,855人であった。



< 10月 > 来道客数 1,044,225人 (+64.7%)  
 ※北海道外から航空機（国内線）、JR（北海道新幹線）、フェリーを利用して来道した旅客数。  
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)



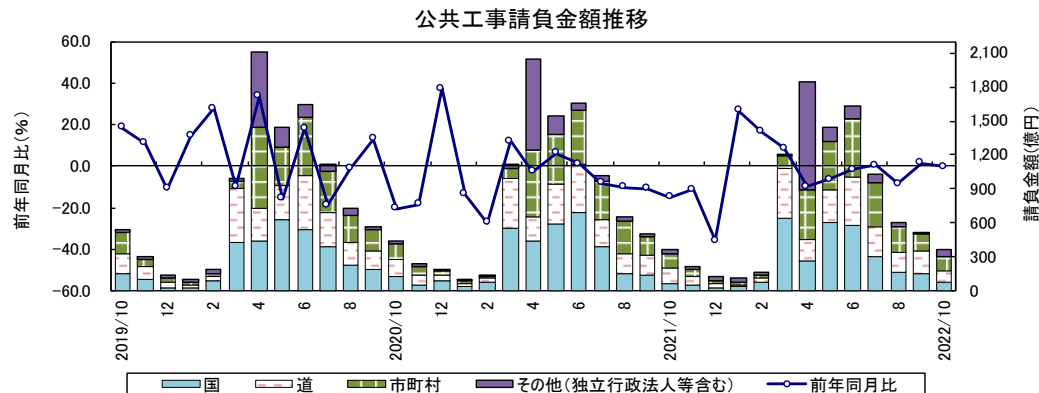
< 10月 >  
 入国者数 1,855人 (- %)

## 【ヒアリング内容】

- 10月は観光が落ち着く季節だが、全国旅行支援の効果もあり、平日でも道内外の観光客が多くみられ、お土産物屋の売上げも増えた。また、週末には満室近くになる宿泊施設もあった。外国人観光客はまだ少ないが、韓国や台湾などの団体ツアー客や個人客がみられた。11月も引き続き国内観光客の入込みは順調であると見込まれる。また、アジア圏から宿泊予約の問合せも増えており今後に期待したい。(観光協会)

# 公共工事 ～ 減少した ～

10月の公共工事請負金額は、国は前年を上回ったが、道、市町村が前年を下回り、前年同月比▲0.2%と2か月ぶりに前年を下回った。



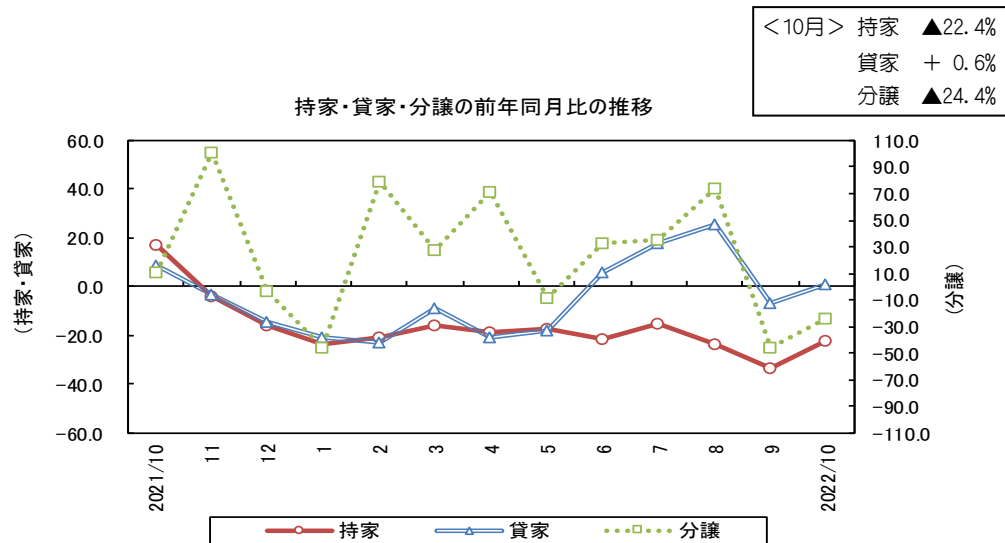
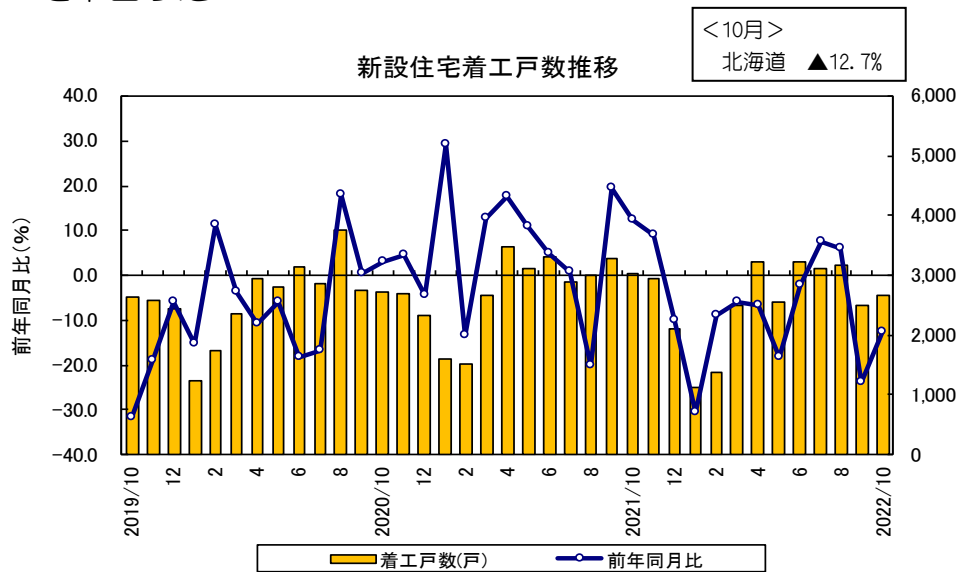
< 10月 >  
 北海道 ▲0.2%  
 (内訳)  
 国 +8.8% 道 ▲21.6% 市町村 ▲2.8% その他 +69.9%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

# 住宅建設 ～ 一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる ～

10月の新設住宅着工戸数は、貸家は前年を上回ったが、持家、分譲は前年を下回り、前年同月比▲12.7%と2か月連続で前年を下回った。



(資料：国土交通省)

# 民間設備投資 ～ 増加している ～

2022年度の設備投資計画は、全体で前年度比+12.8%と3年ぶりに前年度を上回る計画となっている。

## 日銀短観の設備投資動向

2022年10月3日発表

	2021年度	2022年度
北海道	▲ 5.5%	+ 12.8%
製造業	▲ 37.0%	+ 42.3%
非製造業	+ 13.2%	+ 3.6%
全国	▲ 0.8%	+ 16.4%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

## 法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2022年9月13日発表

	2021年度	2022年度
全産業	▲ 19.5%	+ 34.3%
製造業	▲ 19.2%	+ 43.1%
非製造業	▲ 19.6%	+ 32.1%

※数値は対前年比増減率。

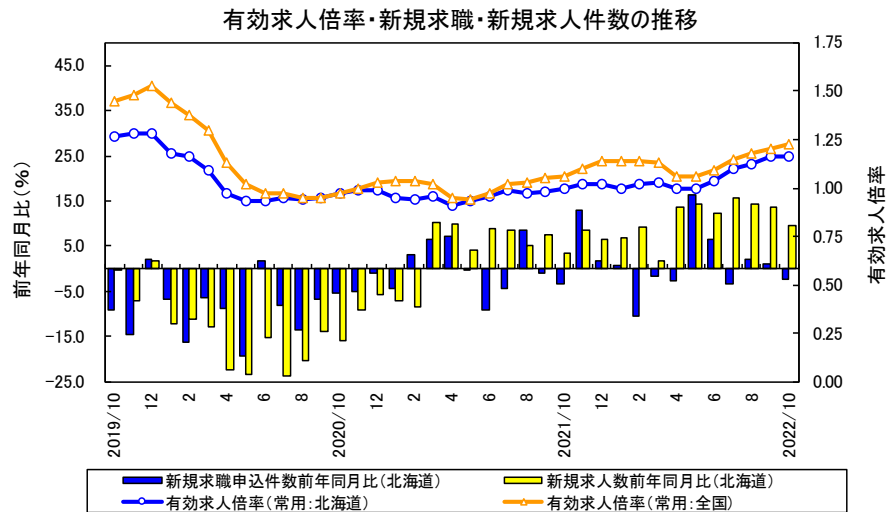
注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)



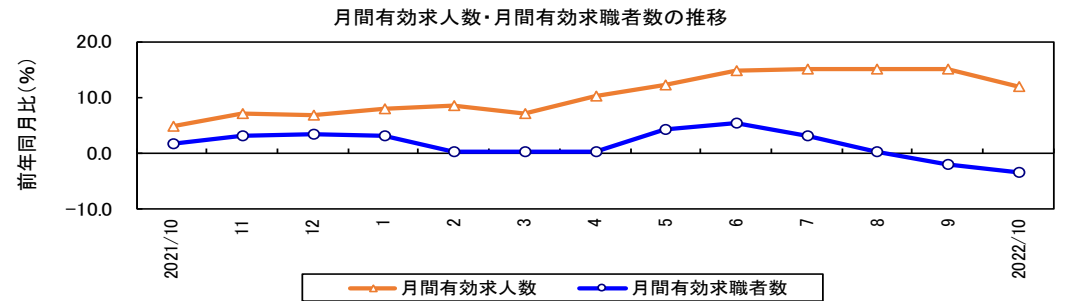
# 雇用動向 ～ 緩やかに持ち直しの動きがみられる ～

10月の有効求人倍率は、1.16倍と前年同月差0.16ポイント上昇し、17か月連続で前年を上回った。



< 10月 >		
北海道	有効求人倍率(常用)	1.16倍
	新規求人件数(前年同月比)	+ 9.6%
	新規求職申込件数(前年同月比)	▲ 2.4%
全国	有効求人倍率(常用)	1.23倍

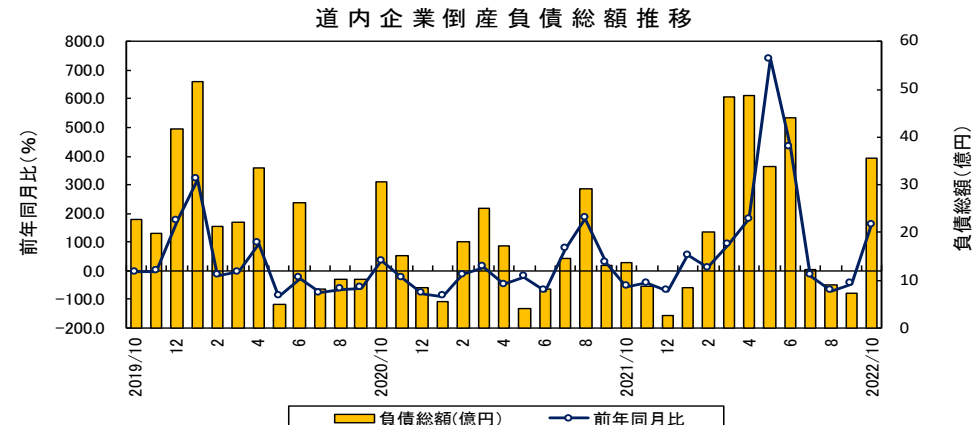
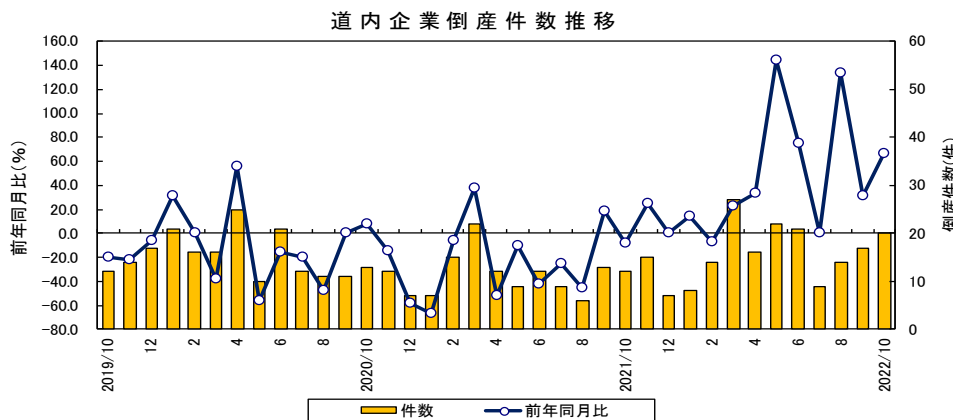
< 10月 >		
	月間有効求人数(前年同月比)	+12.2%
	月間有効求職者数(前年同月比)	▲ 3.3%



(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

# 企業倒産 ～ 件数、負債総額とも増加した ～

10月の倒産件数は20件で、前年同月比+66.7% (8件増) と3か月連続で前年を上回った。また、負債総額は35.6億円で、同+161.2%と4か月ぶりに前年を上回った。



(資料: (株)東京商工リサーチ)